

# まほら館だより

2022. 7月

## 夏休みの貸出 はじめます

いつもは1人5冊まで、1週間の貸出ですが、7月11日(月)から1人10冊まで貸出可能です。返却期限は9月2日(金)まで。10冊以内、期限内であれば、何度でも貸出・返却できます。

この機会に、読書はもちろん、学習や課題研究のための資料探しにどんどん活用してください。



夏休み以前に借りた本は、確実に返しましょう！  
借りた本が分からないなど、いつでもお尋ねください。

### □本を借りるとき

借りたい本を選び、カウンターでクラスと名前を教えてください。

※貸出冊数：1人10冊まで(7/11(月)～8/31(水))

※返却日：9月2日(金)

### □本を返却するとき

※カウンターへ直接お持ちください。

※各階にある返却ポストへ入れてください。

**期限内の返却をお願いします。**

## ☆鹿児島島の魅力再発見☆

7月14日は鹿児島県民の日です



県民の日は、7つの県有施設(常設展示)が無料で楽しめるそうです。

### 「県民の日」とは？

わたしたち鹿児島県民が、鹿児島島の歴史や文化などを見つめ直し、ふるさとを愛する心を育むことによって、自信と誇りにあふれる、より豊かな鹿児島を築き上げることを期する日です。

明治4年の廃藩置県布告日が7月14日であったことに由来します。

まほら館でも、「県民の日」コーナーを作りました。

郷土資料コーナーも充実しています。鹿児島島のことを改めて学んでみませんか？

☆7月7日は七夕です。まほら館では8月7日まで、七夕飾り用の笹を設置しています。

短冊に願いごとを書いて飾りませんか？お待ちしております♪

## 📖 新着図書紹介 📖

貸出中の本は予約もできます。 期限内は、貸出延長もできます。



● **こころの違和感診察室** / 春日武彦著  
(河出書房新書)

ベテラン精神科医が解説する、焦る、不安だなど、「こんなはずじゃなかったのに！」と思ったときに効く33章の処方箋。

● **だれでもデザイン** / 山中俊治著  
(朝日出版社)

人間と新しい技術の接点を考えつけてきたデザイナーが、物づくりの根幹とこれからについて中高生に語る。

● **作家たちの17歳** / 千葉俊二著  
(岩波ジュニア新書)

太宰治、宮沢賢治、樋口一葉など、日本の文学史に大きな足跡を残した作家が、17歳の時にどのような選択をし、その選択がその後の人生にどのような影響を及ぼしたか、当時の日記や創作の言葉をもとに明らかに。

● **ロジカル電子レンジ調理** / 前田量子著  
(主婦の友社)

電子レンジの味つけと加熱時間を調理科学の観点から公式化、それを基にレシピを紹介。

● **弁当作家の学生が毎日作る**  
家族と自分のゆる弁 / のん(主婦と生活社)  
自分で作ってみたいくなるお弁当ばかりです。

● **すすぎる将棋の世界** / 高橋茂雄著  
(マイナビ出版)

将棋を『指す』のではなく『観る』のが好きな著者が棋士のすごさ、注目の棋士など、あらゆる角度から将棋の魅力を語り尽くす。

● **ラジオ深夜便うたう生物学** / 本川達雄著  
(集英社インターナショナル)  
『ゾウの時間ネズミの時間』の著者が、生物の不思議や成り立ちをわかりやすく解説。

● **<読んだふりしたけど>ぶっちゃけよく分かん**、あの名作小説を面白く読む方法 / 三宅香帆著 (笠間書院)

さまざまな名作小説を取り上げ、面白く読む方法を伝授する。

● **古典とケーキ** / 梶村啓二著 (平凡社)  
12の古典の“底力”を解き明かし、それぞれに最適なお菓子とともに紹介する。

- **早朝始発の殺風景** / 青崎有吾著 (集英社)
- **マイクロスパイ・アンサンブル** / 伊坂幸太郎著 (幻冬舎)
- **オオルリ流星群** / 伊与原新著 (KADOKAWA)

- **タラント** / 角田光代著 (中央公論新社)
- **古本食堂** / 原田ひ香著 (角川春樹事務所)
- **うまれることば、しぬことば** / 酒井順子著 (集英社)

<第68回青少年読書感想文全国コンクール課題図書>

- **建築家になりたい君へ** / 隈研吾 (河出書房新社)
- **その扉をたたく音** / 瀬尾まいこ (集英社)
- **クジラの骨と僕らの未来** / 中村玄 (理論社)

今月は、「県民の日」のほかに「宇宙・星」「海」「18歳からの選挙」「夏に読みたい小説」などの展示を行っています。ぜひ読書の参考にしてみてはいかがでしょうか。